

News Release

配線器具等による事故にご注意ください

NITE（ナイト）[独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、平成 27 年 1 月 28 日（木）に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

1. 配線器具等（ヘアドライヤーや電気ストーブ等の電気製品の電源プラグ・コードや、延長コード、テーブルタップ、コードリール、壁コンセントを含む。ただし、壁コンセントより内側の屋内配線は含まない。）による事故は、年間を通じて発生していますが、電気ストーブ、電気あんか等の電気暖房機器やエアコンの使用頻度が増加する 12 月～2 月にかけて、特に多く発生しています。

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、配線器具等による事故は、平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間で合計 947 件^{※2}（死亡事故 14 件、重傷事故 9 件、軽傷事故 64 件、拡大被害^{※3}493 件、製品破損等 367 件）ありました。

2. 配線器具等は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担う部分ですが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続ける等によって事故に至るおそれがあります。

[主な事故事例]

- 電気あんかを使用中、電源コード付け根部分に繰り返し負荷を加えたため、電源コード芯線が断線してショートし、1 人が重傷を負った。
- 延長コードに他の延長コードをねじり接続したため、接続不良によって接触不良が生じて発火し、住宅の一部を焼損して 2 人が死亡した。
- コードリールに定格を超える電気製品を接続し、また、電源コードを全て引き出さない状態で使用したため、電源コードが異常発熱して発火し、住宅が全焼して 1 人が死亡、3 人が重軽傷を負った。

3. これらの事故を防ぐためには、「電源コードをまきつけたまま使用・収納する等、負荷をかける使い方をしない」「ねじり接続等、電源コードの改造や不適切な修理を行わない」「テーブルタップ等に接続可能な最大消費電力を超えて使用しない」等、取扱い時の注意が必要です。事故が多い時期に際して、今一度製品の正しい使用方法を確認し、事故を未然に防止するため、注意喚起を行うこととしました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

(※2) 平成 28 年 1 月 4 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物にも被害をおよぼすこと。

(1) 記者説明会開催概要



日 時：平成 28 年 1 月 28 日（木） 10:00～（開場 9:00～）

会 場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 28 年 1 月 27 日（水）18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[電車でお越しの場合]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

(2) ご説明する内容

平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間に発生した配線器具等の事故 947 件について、発生状況や傾向、事故事例、事故を防止するためのポイント等を、再現実験映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現実験映像、静止画を収録した DVD を配布いたします。



(写真) 電源プラグとコンセントの隙間に導電性の異物が接触してショートする様子

(3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

入館時：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分にかざして入館してください。

退館時：入館許可証を受付に返却してください。

※ 庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当：池谷、西澤

- 記者説明会前日（1 月 27 日）及び当日（1 月 28 日）
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会前々日まで及び翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280